消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

【事例概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	災害出動時における、交差点での衝突
3. 体験した事例の中心的要素	災害出動時(サイレン吹鳴・赤灯点灯)先行車両に続き、対面赤信号の 交差点に進入した際、青信号側からの直進車両と衝突危険があった。
4. 体験した事例の原因・理由	相手車両はサイレンを吹鳴し赤灯を点灯した、先行車両に注意を向けて いたため、同音色の後続車両に気が付かなかったものと推定される。

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	

【体験した事例について】

4 % # □ □±	亚诺 00 年 4 日 6 日
1. 発生日時	平成 20 年 4 月 6 日
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外:国道の交差点
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させた。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう。
合、仮に負傷したときの程度)	
6. どのようなことが起きたのか	交通事故
(起きそうになったのか)	
7. 事例体験時の活動	火災、出動途上 []
8. (7の活動中)	
どのような作業中に発生したか	
9. 同様の体験は、これまでにどの	1年に数度程度の割合で体験している。
程度の頻度で体験していますか。	

10. 事例体験者の属性(回答者は当事者A)

〇当事者 A	年齢[51]歳、 勤続年数[31]年、 現場経験年数[31]年、 階級[消防士長]、
	同様の活動 [1年に数度]、 任務 [機関員]
〇当事者B	年齢[51]歳、 勤続年数[32]年、 現場経験年数[20]年、 階級[消防司令]、
	同様の活動[1年に数度]、任務[車長]
〇当事者C	年齢[38]歳、 勤続年数[18]年、 現場経験年数[12]年、 階級[消防士長]、
	同様の活動[1年に数度]、任務[隊員]
その他	
(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	АВС	交差点の信号を確認	
経過2	A	交差点手前で一旦停止し安全を確認	
経過3	В	車載放送設備を使用し、周辺車両歩行者に注意喚起	
経過4	С	自車両周辺交差点内及び周辺の安全確認	
経過5	A	徐行にて交差点進入	
経過6	АВС	周囲警戒	
経過7	A	接近車両発見、車両停止	
経過8		衝突回避	
経過9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合:事故が起きたのはどうしてだと思うか?

ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか?

体力、反射神経等身体能力が優れていた。危険情報を把握、予見できた。集中力、注意力があった。他隊(員) との連携活動がうまくいった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという"あせり"を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており"あせり"を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより"あせり"を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ	
・足元の強度が不足していた。	いいえ	

〇指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

1. その他の理由があった。

はい:一般車両の防音性能が著しく向上していること。 サイレン吹鳴音が同音色のため注意喚起が十分にできなかった。

【事故発生後の取り組みについて】	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
○注意力欠如、焦り等の対策について	
○装備・資機材の対策について	
○活動環境の対策について	
〇指揮・情報伝達の対策について	



